

## ◇ 実践活動記録

### 伝えよう！芝園Englishマップ －英語地図で校区の魅力発見 校区の歴史編－

#### 1 はじめに

本校は富山市中心部に位置している児童数約 600 名の学校である。県外や海外から転出入する児童が多い。近隣には富山駅、富山城や富岩運河環水公園、高志の国文学館、富山県美術館、富山市ガラス美術館などの公共施設があり、県外や外国からの観光客も多い。本実践においては、校区内の歴史遺産を英語で紹介する「芝園 English マップー校区の歴史編ー」を作成することで、地域への愛着を深める機会とするとともに、近所の人や旅行先で知り合った人、県外や外国からの観光客などに、会話を楽しみながらマップを渡すことで、コミュニケーション能力を高めることをねらいとした。

#### 2 活動の実際

##### (1) Englishマップづくり～「芝園Englishマップー校区の歴史編をつくろう隊ー」の結成

まず、歴史に興味があり English マップづくりを希望する 4・5 年生の子供たち 30 名ほどで「芝園 English マップー校区の歴史編をつくろう隊ー」を結成した。本校では、3 年生が総合的な学習において「芝園のすてき」や 4 年生の社会科において「神通川」について調べる学習をしている。これらの学習とも関連を図りながらマップづくりを進めることとした。はじめに、校区にある歴史遺産の中から紹介したい場所を決め、隊員の子供と担当教員で課外の時間を使って調べたり、子供が保護者と一緒に実際にその場所に行ったりして調査活動を行った。

子供たちが English マップに載せたいと考えたのは、自分たちの学び舎である芝園小学校の歴史であった。芝園小学校は、総曲輪小学校、八人町小学校、安野屋小学校、愛宕小学校の 4 校が統合された学校である。それぞれ深い歴史のある学校であり、地域の方の愛着も深い。子供たちは、統合前の 4 つの小学校のことについての知識はほとんどないため、学校の歴史展示スペースにある書物などを読み進め、それぞれの学校について調べ活動を進めた。

また、総合的な学習や社会科の学習で学んだ富山城、神通川、松川の歴史について English マップに載せたいという声も挙がった。子供たちは、放課後や休日を使って保護者と一緒に富山城を訪れたり、神通川や松川の歴史について書かれている資料を読んだりしながら調査活動を進めた。富山城が戦国大名の勢力の争奪の場であったことや、神通川に船をつないでその上に板を並べた舟橋がかけられていたことなどを知り子供たちは驚いていた。子供たちが日本語で書いてまとめた原稿は、ALT や国際交流員の助言を基に英語に訳した。さらに、マップの中のシンボルマークやイラストは全て子供たちが描き、子供たち手作りの「芝園 English マップー校区の歴史編ー」が完成した。

完成したマップは次ページの通りである。



## (2) Englishマップを通したコミュニケーション

夏期休業前に子供たちには2枚のEnglishマップを配付し、各家庭で1枚を保管し、もう1枚を誰に渡すのか保護者と相談して決めることとした。

Englishマップを、「英語で会話しながら外国人の方に渡したい」という思いをもつ子供も多くいた。そこで、全校集会において、フィリピン人の国際交流員に協力してもらい、実際に外国人の方に渡すときの簡単な英会話のお手本を示した。また、英語でEnglishマップを渡す際の会話例のプリントを配付し、それを基にしながら外国人と会話しながら渡すことができるようにした。



【芝園Englishマップの渡し方の例示】

全校集会で行った英語での会話は、各教室でも練習した。5・6年生は外国語活動で学んだ英語を使って渡すことを推奨した。子供たちは、全校集会や各学級において英会話を練習することで「英語で伝える自信がちょっとついた」「外国の人に勇気をもって渡してみたい!」という思いをもつことができた。

## (3) 世界とのつながりを意識した振り返り

夏期休業明けに、「芝園 English マップー校区の歴史編ー」を渡した相手をパネルにしてまとめ、児童玄関に展示した。子供たちは、登下校や休み時間に足を止めてパネルに見入っていた。日本全国だけでなく、世界各国の人々に渡した結果を見て驚いている子供も多くいた。

学習参観の際にもパネルを展示した。多くの子供たちが様々な国の人に渡したことを知り、それをきっかけに世界地図でいろいろな国を調べるなど、子供とのコミュニケーションが弾んだという保護者もいた。



【児童玄関に展示した芝園Englishマップー校区の歴史編ー】

掲示だけではなく、「芝園 English マップー校区の歴史編ー」を渡した際の様子を振り返る時間を各教室において設けた。また、全校集会において、芝園 English マップを渡した相手の国や都道府県の内訳、渡した時の感想を紹介した。子供たちの感想は、以下の通りであった。



### 【全校集会における振り返りの様子】 ＜子供たちの感想＞

・ 渡すときのせりふを練習して、緊張したけれどがんばって英語で伝えた。相手の人が英語を分かってくれたので、うれしかった。もっと英語を勉強して、いろいろな国に行ってみたい。

・ 芝園校区や芝園小学校のことを知らない名古屋に住んでいる親戚の人に渡した。富山のことを知ってもらい、「富山に行ってみたい」「芝園小学校を見てみたい」と言ってもらえた。

・ せっかく英語で渡す練習をしたから、おばあちゃんに英語で渡してみた。おばあちゃんが英語を知っていてびっくりした。英語が前より好きになりました。

・ 私たちが作ったマップが、世界中のいろいろな国の人に渡っていることを知って、すごいと思った。

・ お母さんが英語で伝えるときのアドバイスをしてくれた。何度も練習して外国の人に渡すことができた。何度も練習してから渡したので、緊張せずに渡すことができた。英語を分かってくれて、うれしかった。

・ 知り合いの人に渡した。芝園 English マップを読んでもらい、芝園のことを褒められてうれしかった。芝園に興味を持ってくれて、行きたいと思ってくれた。芝園のことを、もっといろいろな人に知ってもらいたい。

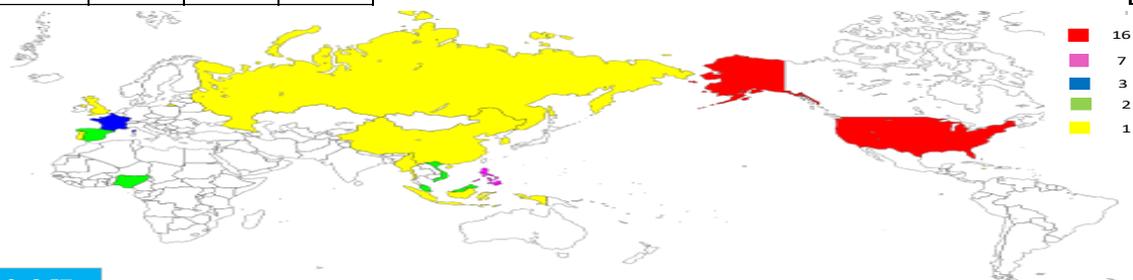
・ チュニジアから来ておられるガラスづくりの先生に渡した。日本文化に触れている方に渡すことができうれしかった。

・ 富山駅前や市内で外国人の方を探して渡した。富山にもたくさん外国人がおられることに驚いた。相手が喜んで、他の外国人に紹介すると言ってくれた。マップが分かりやすく、実際に見るのが楽しみと言われてよかった。

### 3 マップを渡した相手の国や都道府縣市町村別人数

#### 世界内訳

アメリカ	ジャマイカ	イギリス	スペイン	フランス	ポルトガル	ロシア	ナイジェリア	ベトナム	ミャンマー	フィリピン	インドネシア
16	1	1	2	3	1	1	2	2	1	7	1
マレーシア	シンガポール	中国	韓国								
2	1	1	1								
											<b>16カ国</b>
											43人



#### 日本内訳

北海道	宮城	茨城	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	石川	福井	長野	岐阜
4	2	2	1	8	8	28	10	5	13	2	3	5
愛知	滋賀	三重	奈良	京都	大阪	和歌山	兵庫	岡山	広島	山口	福岡	佐賀
6	2	1	4	7	12	4	12	2	2	1	2	3
熊本	宮崎	鹿児島	沖縄									
1	2	1	1									
												<b>30都道府県</b>
												154人

#### 県内内訳

富山市	南砺市	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	魚津市	上市町	立山町	黒部市	入善町	朝日町
182	3	1	2	10	8	4	1	1	6	2	1



### 4 まとめ

本実践においては、校区の歴史遺産について調べ、英語で発信することによって、自分たちが住んでいる校区の魅力を再発見することができた。また、調べる中で、地域の新たな歴史を知り、地域への愛着が増した。さらに、芝園Englishマップを渡す相手を意識した事前指導を行うことで、一人一人が自信をもってマップを渡すことができ、コミュニケーション能力の向上につながった。英語での会話を練習することで、外国語活動への目的意識や意欲向上にもなった。特に高学年は、外国人の観光客を対象にEnglishマップを手渡すことを推奨したことで、世界の国や地域に目を向けることができた。実際に芝園Englishマップを手渡す際は、保護者の方が付き添ってくださる場合が多く、保護者の方の教育活動への理解と協力も得ることができた。

今後も、地域を大切にしつつ、世界の諸課題に目を向ける子供の育成のための実践を進めていきたい。